

ガラテヤの諸教会

2023/12/14 BRC
ガラテヤ人への手紙 1:1-10

- パウロの第1回目伝道旅行での開拓 -
- 使徒の働き 13:51-14:23 -



ガラテヤ人への手紙の受け取り手、ガラテヤの諸教会（ガラテヤの手紙 1:2）とは、第一回伝道旅行で福音を伝えてリバイバルを起こし、開拓したガラテヤ地方の教会です。（地図右上、肌色の地域）
聖書で僕らの見える具体的な地名は南のほうのイコニウム、ルステラ、デルベです。

ガラテヤの下のギリキア(地図右中央；黄色の地域)、その隣のシリアは、パウロがダマスコで洗礼を受けた後に伝道した地域（1回目の伝道旅行の前の旅行）で、デルベから南東 200km あたりにあるギリキアのタルソはパウロの生まれ故郷です(使徒 22:3)

<伝道の動線>

アンテオケから出発してキプロス島のパモス、ル(リ)キアのベルゲ、ヒンディアのアンテオケ（出発したアンテオケとは別のものです。）経由でガラテヤ地方へ（使徒 13:1-51）

ガラテヤ地方

○イコニオン＝イコニウム（使徒 13:51）

↓

○ルステラ＝ルステラ(使徒 14:6)：

足の萎えた人の癒し(使徒 14:7-18)

パウロがアンテオケ、イコニウムからのユダヤ人に石投げのリンチをうけ仮死状態になる。その翌日デルベへ。

↓

○デルベ(使徒 14:6)

↓

○ルステラ→イコニウム→アンテオケのルートで帰る。

その時に、教会として自立できるよう長老を選び、教会組織作りをする(使徒 14:23)